

ICT教育を推進

小中学校VR機器など貸与

恵那市予算案

恵那市は2023年度、将来を担う子どもたちを中心に人材育成事業に力を入れる。デジタル化や情報通信技術(ICT)化を生き抜く力を養うため、学べる機会を提供していく。新年度当初予算案に関連3事業費7010万円を盛り込んだ。【本文記事23面に(服部潤)

「未来キャンパス事業」として、同市大井町のバロニー恵那ショッピングセンター内に高校生や大学生の自習スペースを設ける。約48



平方メートルの部屋に机や椅子を置き、20人程度が利用できる。JR恵那駅から約400メートルで、通学時の電車や塾の待ち時間に活用してもらう。プログラミング教室やデータサイエンス講座も開く予定。夏休みをめぐに整備する。

児童生徒がやりたいことを達成する能力を身に付ける。また市民のデジタル活用能力向上と、デジタルトランスフォーメーション(DX)を活用する人材を育成するためリスキリング事業を進める。22年度にビジネススキルの向上を目指す講座「ユードミールビジネス」を実施し、社会人や大学生が実践的なICTを学ん

だ。ユードミールビジネスは、ベネッセコーポレーションが運営する講座で、プレゼン資料のデザインやエクセル、ワードの使い方など約9500講座がある。23年度は学んだ市民が、小中学生に伝えていく。

恵那市の2023年度当初予算案

(22年度当初予算比)

一般会計	266億8000万円	1.4%
特別会計	125億2200万円	0.8%
企業会計	90億6060万円	▲3.3%
総額	482億6260万円	0.4%

※1万円未満切り捨て、増減率の▲はマイナス

主な事業(万円、▷は新規)

- ▷こども園の医療的ケア対応保育室増築工事 6669
- ▶世界ラリー選手権(WRC)に向けイベント開催やPRグッズ開発 4億8885
- ▷恵那南地区中学校統合準備委員会の設置、建設基本計画作成 400
- ▷市内4福祉センターのバリアフリートイレにオストメイトなど設置 653